

① 本人本位の支援

利用者の気持ちに向き合い、寄り添いながら支援することを大切にし、思いや希望を受け止め、それをかなえる方法を考える。

柔軟性と、応用力のある支援を心がける、

② 継続的支援

「生きることを支援する」という姿勢で、365日24時間切れ目のない支援で支える。

なじみのある職員による継続的な生活の支援を行う。(泊まる、通う、自宅への訪問)

③ 地域で暮らし続けることの支援

介護が必要になっても、本人がこれまで培ってきた家族や地域社会との関係の継続を大切にする。(行きかう人とのふれあい)

④ 地域との支えあい

事業所も地域の一員である。地元活動への参加や、地域資源の活用など、地域と支え、支えられる関係づくりが、利用者のより豊かで当たり前の暮らしの実現となる。

(宮沢 渡氏作成文より参照)